

第 83 号



福祉むらやま

編集発行

社会福祉
法人 村山市社会福祉協議会

電 話 52-0321 F A X 55-7470

新しい「地域支え合い体制づくり」が始まります。

— 介護保険法改正による介護予防・日常生活支援総合事業のご紹介 —

高齢者の生活を支えるための地域づくり

介護や生活支援を必要とする高齢者や、単身高齢者や高齢者のみの世帯が増える中、生活の継続に必要な買い物や掃除の支援、高齢者が生きがいを持って参加できる活動が、これまで以上に必要になると見込まれます。

このため、従来のホームヘルプやデイサービスだけでなく、簡単な家事を住民が援助する訪問型サービスや短時間でリハビリができる通所型サービスが新たにスタートします。そのほかにも「全員参加型」で行う高齢者の支援体制づくりが必要になっています。

地域みんなで一緒に取り組む介護予防活動を応援します

自分らしく地域で暮らし続けるためには、一人ひとりができる限り介護予防に努めるとともに、地域や家庭の中で何らかの役割を担いながら生活することが大切です。また、役割を担うことは介護予防にもつながります。地域の誰もが参加できる、身近な場所での「体操教室」や「サロン」など、住民の自主的な介護予防活動の立ち上げや、運営について幅広く応援します。

高齢者のための地域活動を支援します

こうした住民の皆さんの参加による、幅広い支え合いの地域づくりを推進するため、村山市では、介護予防・日常生活支援事業総合事業を実施しています。新しい「総合事業」では、地域住民の皆さんによる高齢者の介護予防や生活支援の自主的な取り組みを応援します！



・心身や生活の状況によっては、基本チェックリストと呼ばれる簡易な確認で、サービスや支援を受けたり、地域の通いの場に参加いただくことができます。

・生活の中の困りごとができたときは、これまで通り「地域包括支援センター」にご相談ください。

お問い合わせ先 ☎ 53-9123

Q. 現在利用しているホームヘルプやデイサービスは、継続利用できなくなりますか？

A. 利用者の希望や状態などを踏まえた、地域包括支援センター等のケアマネジメントで、専門職による支援が必要と判断された場合は、引き続き従来型の訪問介護や通所介護を利用することができます！



地域包括ケアシステム ～「全員参加型」で行う「地域支え合い体制づくり」～

団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。

【包括的支援事業】

- 地域包括支援センターの運営
- 在宅医療・介護連携の推進
- 認知症施策の推進
- 生活支援サービスの体制整備

出典：三原市・リサーチ・コンサルティング「平成27年度厚生労働省老人保健福祉政策等事業「地域包括ケア研究会」地域包括ケアシステムと地域マネジメント（地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業）」2016年



【北村山第一医療介護連携センター】

今年度 4 月に開設以来、退院後在宅療養される方や自宅で看取りを考えている方についてのご相談をお受けしております。

北村山地区の医療と介護事業所の情報を集約しておりますので、自宅に来てくれる医師や歯科医師、薬剤師、看護師の情報や心配ごとなどお知らせになりたい場合は当センターまでご相談ください。

また、専門職の方からのご相談もお受けしております。村山市・尾花沢市・大石田町の 2 市 1 町の担当ですので、広域で医療機関等の情報をお知らせになりたい場合もご相談ください。

来年度は、講演会を開催する予定です。

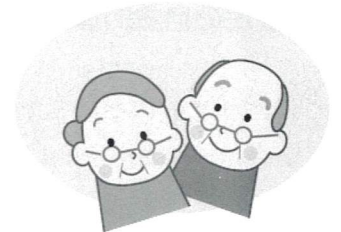
お問い合わせ先 ☎ 53-9123

【「認知症初期集中支援チーム」が始動しました！】

- ・ 家族が認知症かもしれない
 - ・ 病院に連れて行きたいけれど行ってくれない
 - ・ 認知症の症状がひどく困っている
- などありませんか？

早期受診が出来ず、診断や十分なケアが行われずに症状が悪化するケースがあります。

そこで、医療・福祉の専門職がなるべく早い時期から関わることで、生活環境を調整し、それまでと同じように安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援いたします。



どうぞお気軽にご利用ください。

- ・ カフェア・ロコ（香紅の里）
- ・ おしゃべりカフェ集い
- （在宅介護を支える家族の会）
- ・ シャローム・ベテスダ
- （ベテスダ）
- ・ さくらカフェ（さくら村山）
- ・ わくわくはやまカフェ
- （はやまホーム）
- ・ ふもとオレンジカフェ
- （特養ふもと）

認知症になっても安心して住み続けられるしくみづくりのために認知症地域支援推進員として看護師（1名）を配置しています。徘徊のおそれがある方々を事前に登録し、いざという時に警察署が迅速に対応するため、「安心おかえり登録」をすすめています。現在の登録者は40名です。また、地域の中で、認知症の方や家族などが集える場として「認知症カフェ」の運営支援を行っています。

【認知症地域支援推進員】

山形県共同募金会地域福祉・在宅福祉事業配分 「地域高齢者買い物支援事業」

高齢者に
やさしいお店

御用聞き 店舗台帳

ほっぴり
おしゃべり

御用聞き店舗

ポスター&台帳

完成しました！

生活に必要な買い物等の悩みを解決できるよう、赤い羽根・県共同募金会より助成を受けて、ポスターと台帳を作成しました。

村山市商工会よりご協力もあり、ご自宅までの配達や送迎等のサービスを行います！と市内の37件のお店や企業の方より、ご登録をいただきました。

買い物に出かけられない高齢者の方はもちろん、

地区での見守りや生活支援などに役立たいという方に無料で配布いたします。ぜひ、ご活用ください。

また、お店の情報は、随時受付けておりますので、ご登録をお願いいたします。

住民の方々とお店の方、社会福祉協議会、それぞれの顔が見える関係で、安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進していきたいと思えます。

高齢者に
やさしいお店

お知らせ

村山市老人クラブ連合会

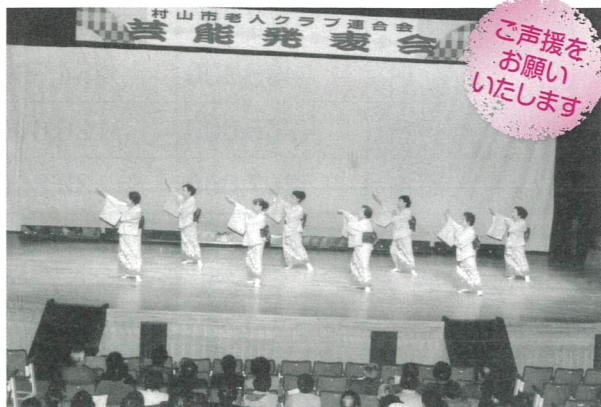
第19回芸能発表会

■日 時 平成 30 年 3 月 11 日 (日)
13 時開会

■会 場 村山市民会館大ホール

■入場は無料です。

会員が日頃練習している唄や踊りなどの芸をご披露いたします。



あなたの生活を
安心サポート

「福祉サービス利用援助事業」

Q どんな人が利用できるの？

高齢の方や障がいのある方で、自分ひとりではいろいろな手続きをすることが不安な方や、お金の管理に困っている方などが利用できます。

Q どんなことをしてくれるの？

- ・福祉サービス利用に関する情報提供や相談
- ・預貯金の出し入れ代行や計画的なお金の使い方相談
- ・利用料や公共料金等の支払い代行
- ・通帳や印鑑など貴重品の保管など

Q お金にかかるの？

一回あたり1,500円

※生活保護受給者は利用料が免除されます。

赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動結果報告

募金総額



赤い羽根共同募金

4,756,967円

歳末たすけあい義援金

2,075,543円

ご協力ありがとうございました。

○赤い羽根共同募金

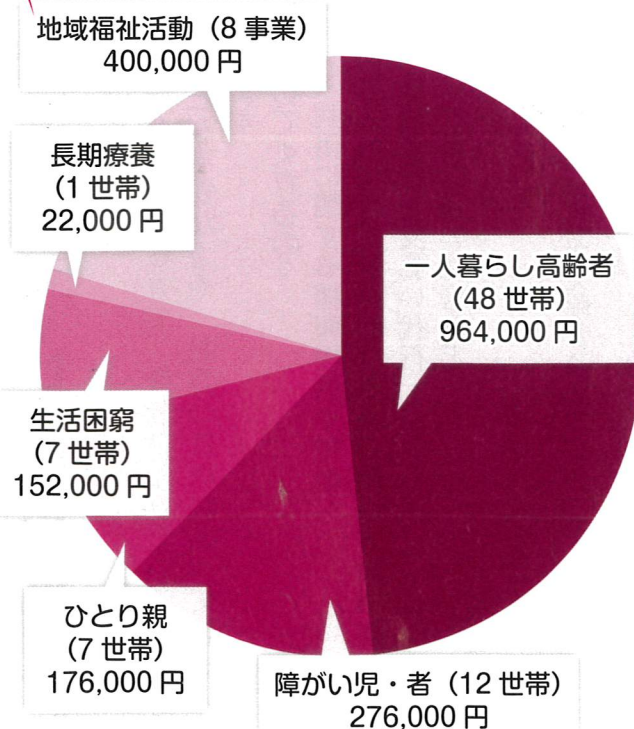
10月1日から一斉にスタートした「赤い羽根共同募金運動」。集まった募金は、福祉施設や災害時の支援の他、地域の福祉活動へ助成されることとなっています。具体的な助成金額や募金の使われ方は広報紙「福祉むらやま 10月号」でお知らせする予定です。

○歳末たすけあい義援金

歳末たすけあい運動は、新たな年を迎える時期に、市内の支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるように運動を展開しました。

義援金は、昨年末の審査委員会での審議を経て、民生委員の協力のもと、援助を必要する方々に届けられました。また、地域の福祉事業のために配られました。

歳末たすけあい義援金の使われ方



【平成 29 年度共同募金受入金実績】

(単位：円)

募 金 種 別	赤い羽根 共同募金	歳末たすけあい 義援金
戸 別 募 金	4,139,300	2,075,543
(地域別) 楯 岡	1,682,700	842,383
西 郷	556,600	280,500
大 倉	248,400	124,200
大久保	318,600	159,300
富 本	312,000	154,200
戸 沢	495,400	254,560
袖 崎	258,600	126,600
大高根	267,000	133,800
法 人 募 金	395,561	
職 域 募 金	69,625	
学 校 募 金	152,481	
募 金 総 額	4,756,967	2,075,543

地域福祉活動の助成を受けた団体からのありがとうメッセージ

戸沢地域

ひとり暮らし等支援事業：助成額50,000円

正月に一人暮らし世帯等の方を支援することを目的として、民生委員から正月向けの弁当を届けることで地域社会の繋がり、絆、支え合いの気持ちを高める活動となりました。ありがとうございました。



大倉地域

高齢者交流事業：助成額50,000円

高齢者同士の交流会や輪投げ大会、団子さしをとおした子供達との交流を行い、親睦を図りました。ありがとうございました。



富本地域

ひとり暮らし高齢者等

手料理配食交流事業：助成額50,000円

地域のボランティアサークル「さくら会」が手料理（弁当）の調理を担当してくださりひとり暮らし高齢者等へ民生委員が直接配達しました。温かい手料理（弁当）を通して交流を深めることができました。ありがとうございました。



大高根地域

ひとり暮らし高齢者へ激励文発送

および除雪費支給：助成額50,000円

地域の一人暮らしの高齢者の方に富並小、葉山中の生徒が励ましの言葉をハガキで送る事業です。毎年楽しみにしていただいております。また冬期間、除雪の困難な高齢者世帯への除雪費を直接お持ちすることで見守りにもなり安心してもらえる事業となりました。ありがとうございました。

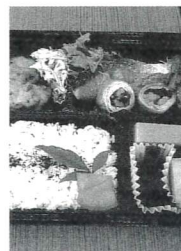


楯岡地域

一人暮らし高齢者

お楽しみ弁当配食事業：助成額50,000円

一人暮らしの高齢者の方へお楽しみ弁当を提供し、地域の繋がりを実感してもらえる機会となっております。食事提供にとどまらず、社会的な孤立を起こさせない活動として重要性が増しているのが現状です。皆様のご協力に感謝申し上げます。



大久保地域

ふれあいおせち料理

配食交流事業：助成額50,000円

大久保地域食生活改善推進協議会、民生委員・児童委員が連携し、一人暮らし世帯、高齢者世帯などにおせち料理の提供を行いました。手作りのおせち料理が届けられると、満面の笑みで感謝をされていました。これからも温かい思いを伝え続け大久保地域の福祉向上に取り組んでいきます。ありがとうございました。



西郷地域

ふれあいクリスマス

交流会：助成額50,000円

一人暮らしの高齢者及び高齢者世帯の方々をご招待し、西郷児童センターでのクリスマス会交流会が開催されました。会では児童による歌や遊戯を楽しみ、世代を超えた貴重な交流に児童も参加者も笑顔あふれるひとときとなりました。ありがとうございました。



袖崎地域

高齢者世帯支援事業：助成額50,000円

一人暮らし高齢者同士の情報交換会、除雪活動を実施することができ、地域の支え合いに大変役立っております。ありがとうございました。



「村山市生活自立支援センター」

病気で働けない…、社会に出るのが怖い…、生活に困っている…、将来が不安…

などの色々な悩みごとのご相談を専門職員が受付いたします。

昨年度は
23 件

○一人一人に合わせた支援プランを一緒に作ります。

どのような支援が必要か、専門職員と一緒に考えます。具体的なプランを作成し、寄り添いながら、自立に向けて支援します。

○就職支援として家賃を支給します。

離職などで住むところなくなった人や、住む場所を失うおそれが高い人には、求職活動することを条件などに、一定期間、家賃相当額を支給します。生活の土台となる住居を整えた上で、就職を支援します。

○フードバンク提供による食料支援

フードバンクは、平成 29 年 1 月に活動を開始し、生活協同組合共立社より無償で物品の提供を受け、「何日間も食べていない、食べ物がなくて困っている」という方への緊急の支援として食品を提供しています。生活に困り、生活上の困難がある方はお問い合わせください。



お問い合わせ専用ダイヤル ☎
0237-53-3787

相談
無料

生活福祉資金貸付制度のご案内

生活福祉資金とは、低所得世帯の支援のために、民生委員や市町村社会福祉協議会が窓口となって、生活支援を基に無利子または低利子で資金の貸付を行うものです。

< 総合支援資金 > 失業等により収入が減少し、世帯の生活維持ができなくなった等、生活の立て直しのためにお貸しする資金です。【貸付上限額 60 万円以内】	< 教育支援資金 > 高校、大学、短大、専門学校への就学に際し、入学金、制服等の経費、授業料・通学定期代の就学経費をお貸しするものです。
< 福祉資金 緊急小口資金 > 緊急的かつ一時的に世帯の生計維持が困難となる場合の貸付資金です。 【貸付上限額 10 万円以内】	< 福祉資金 福祉費 > 福祉機器の購入や、出産・住宅改修等の経費、また日常生活上一時的に必要な経費等をお貸しするものです。
< 不動産担保型生活資金 > お住まいの居住用不動産を担保に生活費をお貸しするものです。【月額 30 万円以内】	< 要保護世帯向け 不動産担保型生活資金 > お住まいの居住用不動産を担保に生活費をお貸しするものです。 【居住用不動産評価額の 7 割程度】

貸付金額についてはご相談ください。

【お問い合わせ先】 ☎52-0321